

新三景之碑周辺のマツの根の露出への対応

—マツの生育に大きな影響なし—



技術情報 VOL.1

(調査・検証)一般財団法人三保松原保全研究所 R2.10

三保松原の新三景之碑周辺の一部のマツの根が露出しており、土壌が流れ出してマツの生育への影響が生じていないかと心配する声がありましたので、現状と対応についてお知らせします。

●マツの根の露出状況

羽衣の松東側の石碑「新三景之碑」周辺の老齢大木4本、中小マツ区域1か所で、マツの根が露出している状況が見られます。※裏面の図面参照



石碑西側の老齢大木



石碑東側の中小マツ区域

●土砂の流出の状況

当区域の土量変化は、平成29年度から静岡市が行っている3D(立体)計測※1により把握されています。その結果、直近3年間で浸食が見られるのは、通行者のメインルート及びみずみちがある区域で、局所的には最大25.7cm減少し、一時的に浸食が生じましたが、根の露出部分の土量変化は+10cm～-5cm程度と大きな減少は生じていないことが分かりました ※裏面の図面参照

●根の露出によるマツの生育への影響

根は露出して年月が経つと表皮にコルク層が形成されて樹皮同様となるため、直接踏まれない限りマツの生育に支障はないと考えられます。また、盛土による根の被覆は根の呼吸が妨げられ、悪影響が出るリスクがあるため、現状のままでよいと判断しています。

●対応

既設木柵の外にあるマツについては、令和2年度内に市が木柵を新設して、踏圧の影響を防ぎます。また、浸食が認められた区域は、今後実施される土壌改良工事により改善されます。

※1 区域を立体的に計測して土量変化をモニタリングし、老齢大木の樹勢回復対策の資料とするため、平成29年度から市が実施している。

羽衣の松周辺の土量変化量(H29.7月→R2.7月)

○ 根の露出箇所

□ 土壤改良実施箇所

羽衣の松エリア

新三景之碑

松原エリア

入口

三代目松

羽車神社

羽衣の松

浜エリア

凡例

—	松保護柵
—	みず道
○	松
□	クラスト破砕・土砂入替え箇所

3年間の増減量

(m)

